

令和6年度 地域ケア個別会議 まとめ

(1) 検討件数

15件

(2) 対象者

支援困難ケース、地域の実情に応じて開催が必要と認められるケース

介護保険認定なし：2件、申請中：1件、要支援認定：0件、要介護認定：12件

(3) 参加者

本人、家族、地域住民、民生委員、地域福祉コーディネーター、福祉サポーター、自治会長、医療機関、医師、市社会福祉協議会、市役所他課 等

(4) 共通した課題

認知症への対応、理解：10件（一人歩き、被害妄想等）

問題を抱えた家族の対応：4件（障害のある家族、生活困窮世帯）

支援拒否：4件（各サービス拒否、医療受診拒否）

緊急時の対応：6件（警察、医療における緊急時の対応方法）

金銭管理：3件（金銭管理ができない、子に渡してしまう）

精神障害による症状：2件（被害妄想、暴言等）

一人暮らし：10件（近隣住民の支援を受けて在宅生活）

(5) 共通した解決方法

関係者間で対応方法を共有し、役割分担して見守り・支援を行う。

関係者の顔合わせと情報共有を行い、本人への対応方法を統一する。

支援を拒否する場合でも、役割分担し最低限の見守りを行い、緊急時対応できるようにする。

市役所他課や社会福祉協議会、障害者基幹相談支援センターと連携して対応していく。

成年後見制度の申立ての検討。